

OSS License Checked!
Orchestrating a brighter world
NEC
オープンソースの「偽」を特定
オープンソースカンファレンス
2018 Tokyo/Fall
OSSライセンスと著作権法のポイント
～正しい、OSSライセンスの理解の仕方
2018年10月27日
NEC OSS推進センター・姉崎章博

フリー(自由)ソフトウェア/OSSの概史
1970年代
藤田昭人「Unix考古学」第8章より
『ソースコード付きで配布』というOSSの先駆け/元祖であるUnix
カリフォルニア大学バークレー校
Berkeley Software Distribution
UCBの学生ビル・ジョイがBSD版UNIXを開発...
名無し
1980年代
リチャード・ストールマンがGNUプロジェクトを開始...
GNU EmacsをFree Software(自由ソフトウェア)としてリリース...
GNU GPL...
1990年代
CERNで初めてWorld Wide Webが構築される...
リーナス・トーバルズが最初のLinuxをリリース...
Netscapeが「オープンソース」Mozillaとして公開...
©NEC Corporation 2018

プログラムとしては、現在、すべてを
フリーソフトウェアと呼び オープンソースと呼ぶ
藤田昭人「Unix考古学」第8章より
『ソースコード付きで配布』というOSSの先駆け/元祖であるUnix
UCBの学生ビル・ジョイがBSD版UNIXを開発
リチャード・ストールマンがGNUプロジェクトを開始
GNU EmacsをFree Software(自由ソフトウェア)としてリリース
GNU GPL
CERNで初めてWorld Wide Webが構築される
リーナス・トーバルズが最初のLinuxをリリース
Netscapeが「オープンソース」Mozillaとして公開
©NEC Corporation 2018

OSSのライセンスの例
IoT:繋がるデバイスには、TCP/IPの実装が必要
●本家 * BSD
●Linux
クラウド OpenStack
SDN OpenDaylight
ビッグデータ Hadoop
運用管理 Hinesmos, Zabbix
データベース
●PostgreSQL
●MySQL
基盤ソフト FIWARE
FreeBSD Copyright等BSDライセンス
GNU GPLv2
Apache License 2.0
Eclipse Public License (EPL)
Apache License 2.0
GNU GPLv2
PostgreSQL License BSDライセンス
GNU GPLv2
GNU AGPLv3, GPLv2, Apache2.0, 他
©NEC Corporation 2018

これら5のうち、BSDライセンスだけは、ヘッダに書けるぐらい短い
FreeBSD_10_1/src/sys/fs/nfs/nfs_common.c
ただし、バイナリ頒布の際に付けるのは、その他のライセンス条文も含む
FreeBSD_10_1/src/COPYRIGHT
4.4BSD
主にカリフォルニア大学のOSS. 彼らは4.4BSDでライセンスしてもFreeBSDでライセンスしていない
©NEC Corporation 2018

LinuxのGNU GPLv2をはじめ、他の条文は長い - それでもGPLv3の6割
これが6Pもあり、なかなか読むのはしんどい
しかも、正式には原文は英文
でも、コミュニティのサイトや
OSDNサイトに日本語参考訳があります。
https://ja.osdn.net/projects/opensource/wiki/licenses
©NEC Corporation 2018

OSSライセンスには、どんな条件が書かれているか
各ライセンスで表現は様々ですが...
●著作権表示、条文本体、免責事項
●バイナリのソースコードを
(または、その申し出を)添付すること、など
BSDライセンスなど
条件を包含している必要がある
GPLなど
こちらだけの条件ではない
さて、これらは、義務ではなく、条件ですが、何の条件か？
©NEC Corporation 2018

(創作性のある)プログラムは著作物として保護される
日本国 著作権法 第十条 (著作物の例示)
一 小説、脚本、論文、講演その他の言語の著作物
二 音楽の著作物
三 舞踊又は無言劇の著作物
四 絵画、版画、彫刻その他の美術の著作物
五 建築の著作物
六 地図又は・・・その他の図形の著作物
七 映画の著作物
八 写真の著作物
九 プログラムの著作物
©NEC Corporation 2018

OSSライセンスの位置づけ
OSSライセンスは、OSSの受領者が再頒布など著作権の行使の許諾
Webで公開
アップロード
OSS作者(開発者) = 複製権の専有者
Webで公開
アップロード
OSS作者(開発者) = 複製権の専有者
Webで公開
アップロード
OSS作者(開発者) = 複製権の専有者
©NEC Corporation 2018

だから、IT系で普及しているOSの位置づけ組込み系では要注意
OSSライセンスは、OSSの受領者が再頒布など著作権の行使の許諾
Webで公開
アップロード
OSS作者(開発者) = 複製権の専有者
Webで公開
アップロード
OSS作者(開発者) = 複製権の専有者
Webで公開
アップロード
OSS作者(開発者) = 複製権の専有者
©NEC Corporation 2018

つまり、OSSライセンスは ソフトウェアライセンス(EULA)と違う(1/3)
1.主な許諾内容が違
2.主な許諾形式が違
3.主な許諾対象が違
©NEC Corporation 2018

つまり、OSSライセンスは ソフトウェアライセンス(EULA)と違う(2/3)
1.主な許諾内容が違
2.主な許諾形式が違
3.主な許諾対象が違
©NEC Corporation 2018

つまり、OSSライセンスは ソフトウェアライセンス(EULA)と違う(3/3)
1.主な許諾内容が違
2.主な許諾形式が違
3.主な許諾対象が違
SW/HW製品
プログラム1
プログラム2
画像3
(OSS)ライセンス1
(OSS)ライセンス2
ライセンス3
©NEC Corporation 2018

以上により ソフトウェアライセンスの一種かのような表現は不適切
オープンソースは「ソースコードが誰でも自由に利用できる」とするソフトウェアライセンスに、その、その利用を許可しています。
ソフト屋に外注しているから大丈夫、とは限らない
©NEC Corporation 2018

2009年12月14日 SFLCにBest Buyなど14社がGPL違反で提訴された
SFLC: Software Freedom Law Center
1. Best Buy's Blu-ray DiscPlayer
2. Samsung's LCD HDTV's
3. Westinghouse's LCD HDTV
4. JVC's LCD HDTV and IP Network Camera
5. Western Digital's WD TV HD Media Player
6. Bosch's Security System DVR
7. Phoebe Micro's wireless routers and IP Motion Wireless Camera
8. Humax's HD HDTV DVR
9. Contrend's bonded modems
10. Dobbs-Stanford's digital media player
11. Versa Tech's weatherproof dual radio outdoor wireless access point
12. ZyXEL's 4 Port Router
13. Astak's security camera system with DVR and security system DVR devices
14. GCI's digital music controller
©NEC Corporation 2018

このようなリスク(?)に対して、何をしなければならないか？
OSSは一般に他人の著作物
であることを理解し、
そのように扱うこと
©NEC Corporation 2018

